

NSG
GROUP

NSG グループ

2011年3月期 第2四半期 決算報告
(2010年4月1日～9月30日)

日本板硝子株式会社
2010年11月4日

NSGグループ:第2四半期決算

(2010年4月-2010年9月)

アジェンダ

- ・ 決算概要
- ・ 需要および事業状況
- ・ まとめ

要点: 2010年4月-9月期

- 前年の低水準からの市況の回復を反映した上期業績
- 持分法適用会社の業績は堅調
- 第2四半期に新株を成功裏に発行
- 2012年3月期から2014年3月期の戦略的経営計画(SMP)を
11月4日に発表

NSGグループ:第2四半期決算

(2010年4月-2010年9月)

アジェンダ

- ・ 決算概要
- ・ 需要および事業状況
- ・ まとめ

連結損益計算書

(億円)	11年3月期 4月-9月期	10年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	2,937	2,930	0%**
暖簾等償却前営業利益*	185	(70)	
暖簾等償却費*	(80)	(92)	
営業利益	105	(162)	
営業外損益	(40)	(85)	
経常利益	65	(247)	
特別損益	(7)	(20)	
税前利益	58	(267)	
当期純利益	0	(262)	
EBITDA	347	133	161%

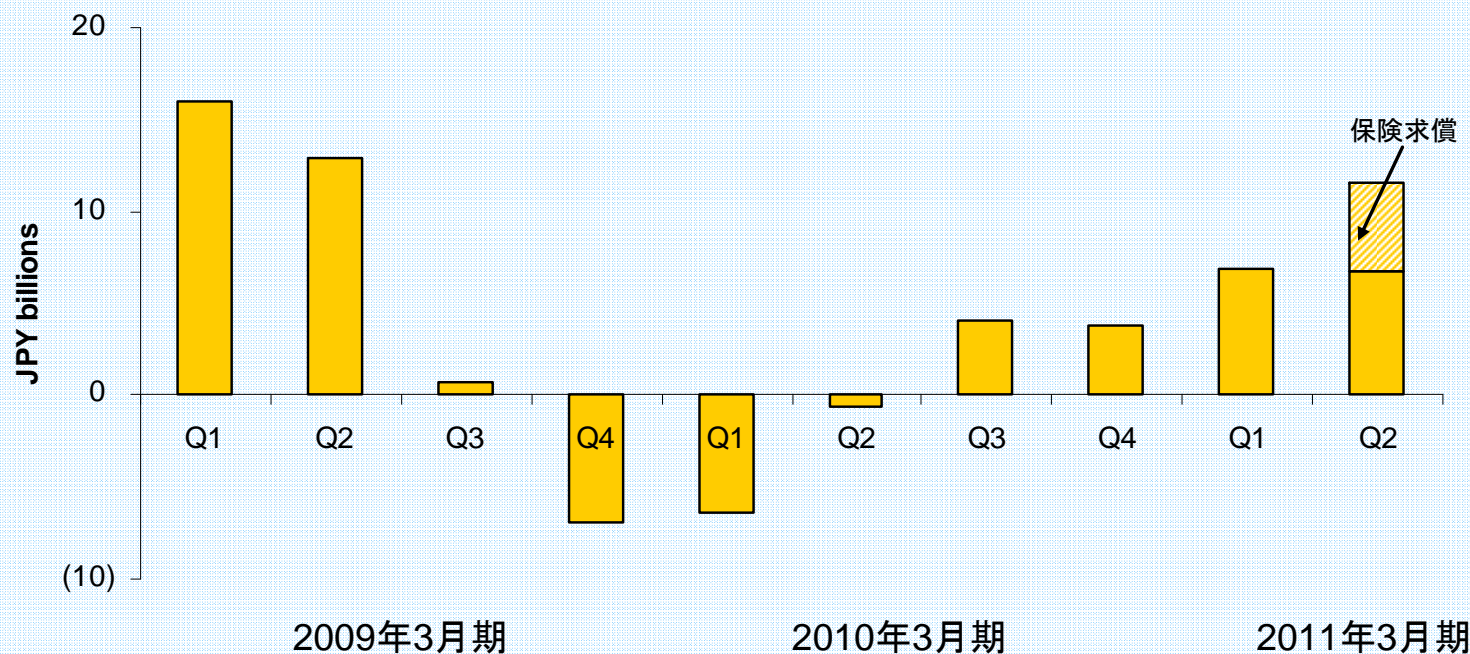
* P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

** 為替変動を除くと+8%

収益性が改善

四半期毎の営業利益動向

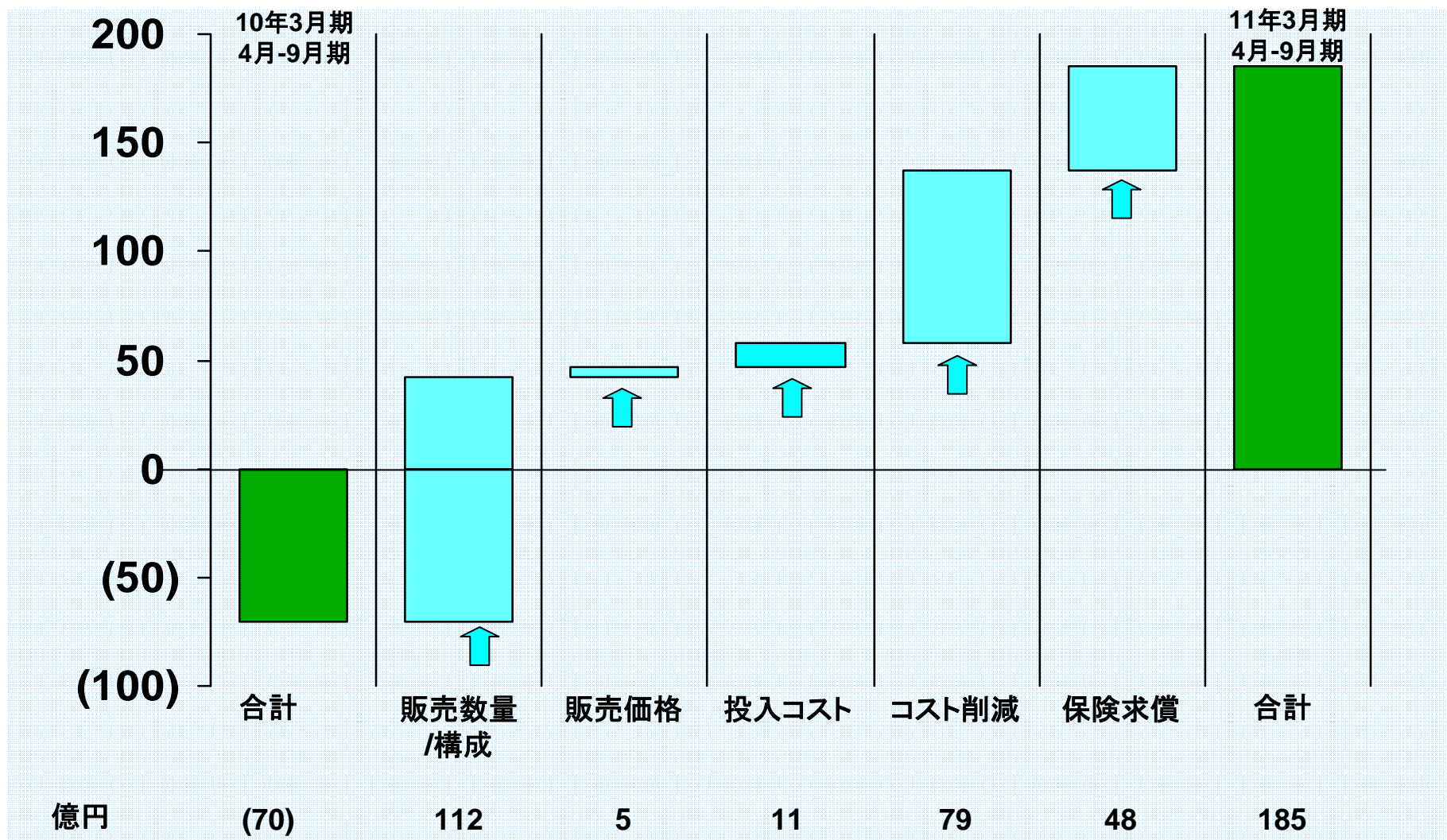
暖簾等償却前営業利益*



*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

業績は、経営施策と市場状況の改善を反映

営業利益差異分析（暖簾等償却前）



数量増およびコスト削減が顕現

営業外損益

	11年3月期 4月-9月期 (億円)	10年3月期 4月-9月期 (億円)
持分法投資損益	39	(4)
金融収支	(60)	(65)
雑損益	(19)	(16)
合計	(40)	(85)

持分法適用会社の業績が改善

連結キャッシュフロー

	11年3月期 4月-9月期 (億円)
税金等調整前当期純利益	58
減価償却費及び暖簾償却費	242
運転資本の増減	(42)
税金等の支払額	(47)
その他	(64)
営業活動によるキャッシュフロー	147
固定資産の取得	(120)
その他	17
投資活動によるキャッシュフロー	(103)
フリーキャッシュフロー	44

キャッシュ創出を引き続き重視

主要財務指標 (KPI)

	<u>2010年9月末</u>	<u>2010年3月末</u>
ネット借入(億円)	2,701	3,146
ネット借入/EBITDA	4.4x	7.7x
ネット借入/純資産比率	1.1	1.3
	11年3月期 4月-9月期	10年3月期 4月-9月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	5.2x	2.5x
営業利益率*	6.3%	-2.4%

* P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

EBITDA回復で財務指標改善

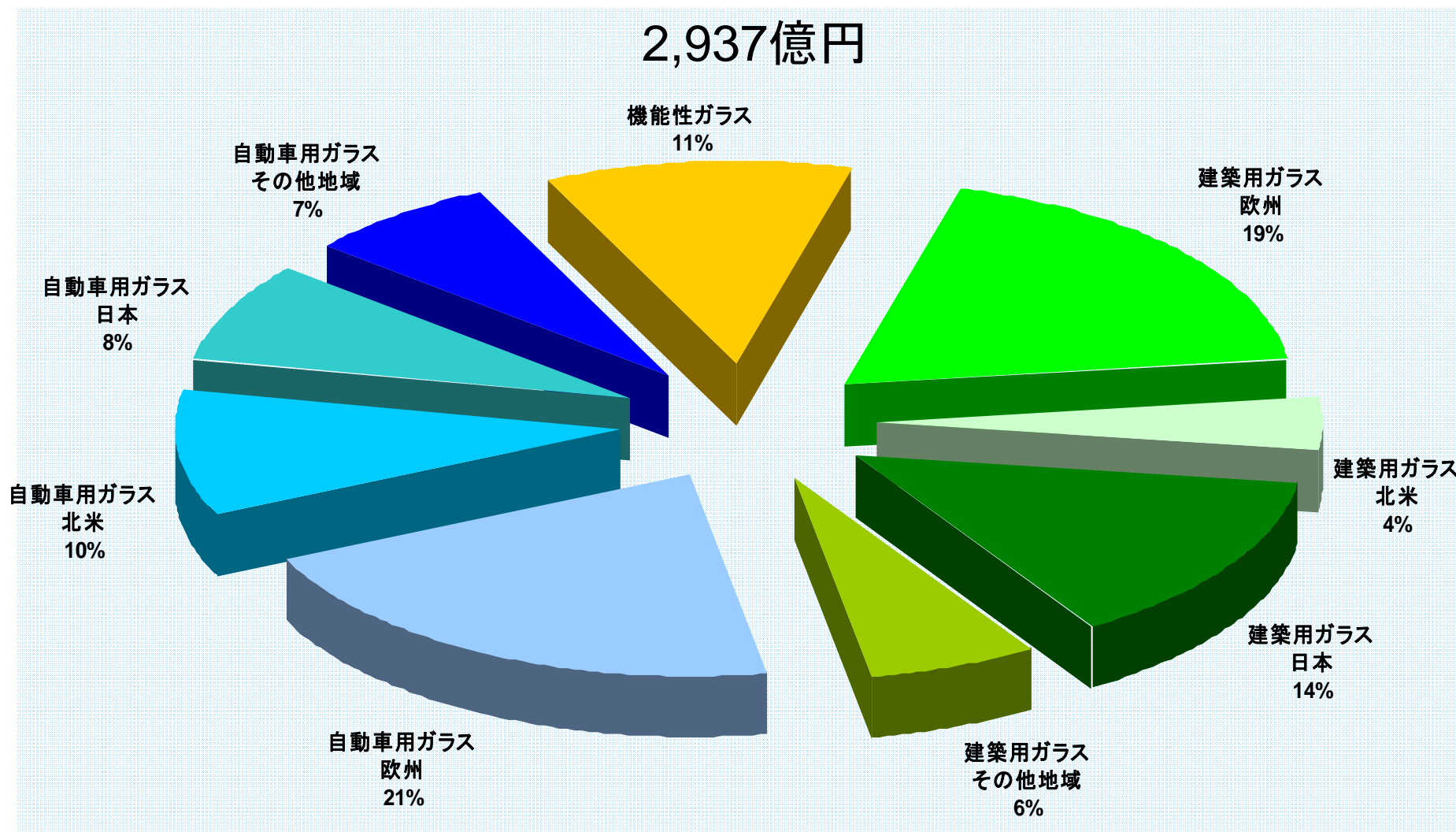
NSGグループ:第2四半期決算

(2010年4月-2010年9月)

アジェンダ

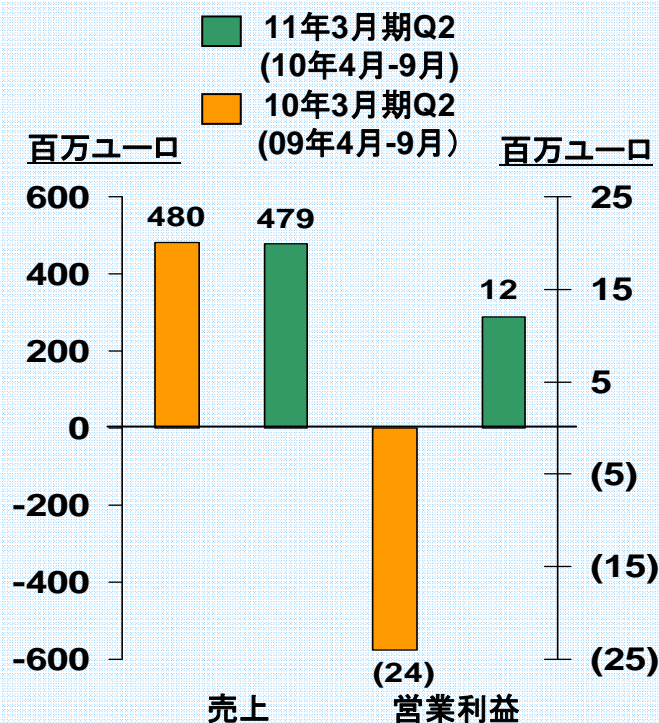
- ・ 決算概要
- ・ 需要および事業状況
 - 建築用ガラス事業
 - 自動車用ガラス事業
 - 機能性ガラス事業
- ・ まとめ

事業別売上高



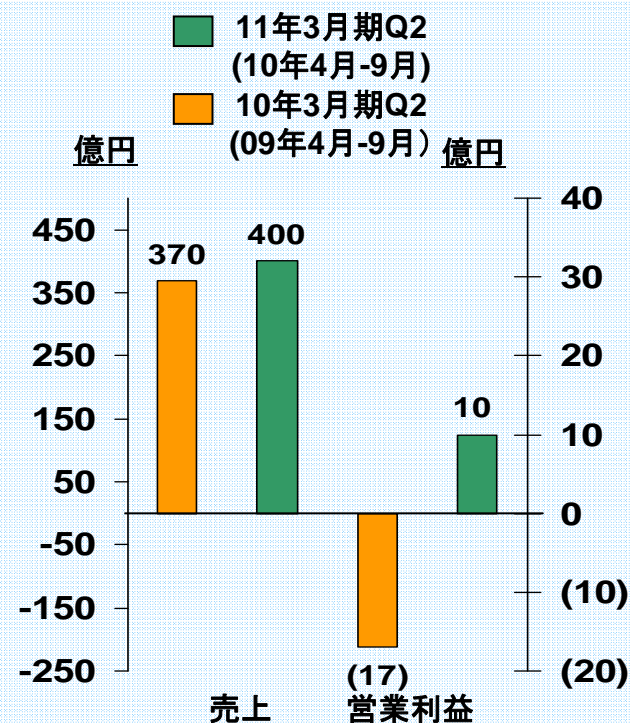
建築用ガラス事業 (10年3月期第2四半期との比較)

欧州



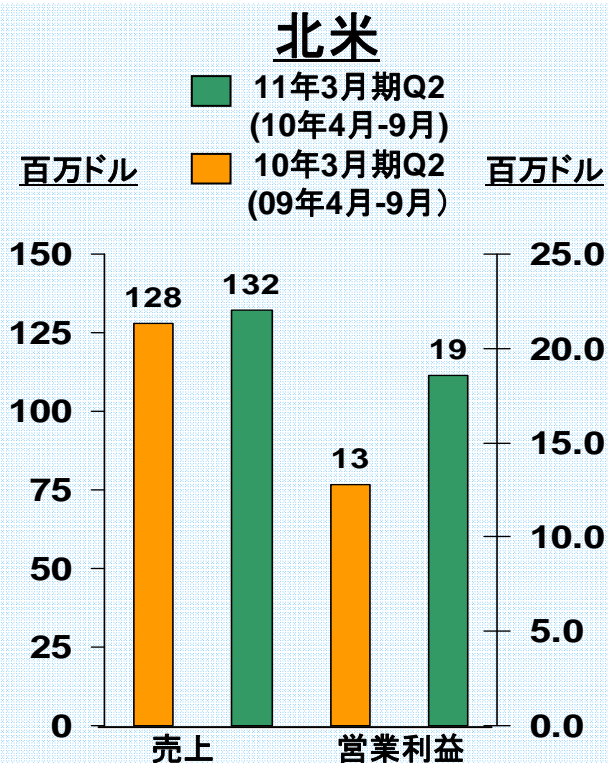
- 販売数量および価格改善がスイス/フランスの川下加工事業売却を相殺し、売上横ばい
- 販売価格改善、販売数量増とコスト削減により営業利益増

日本

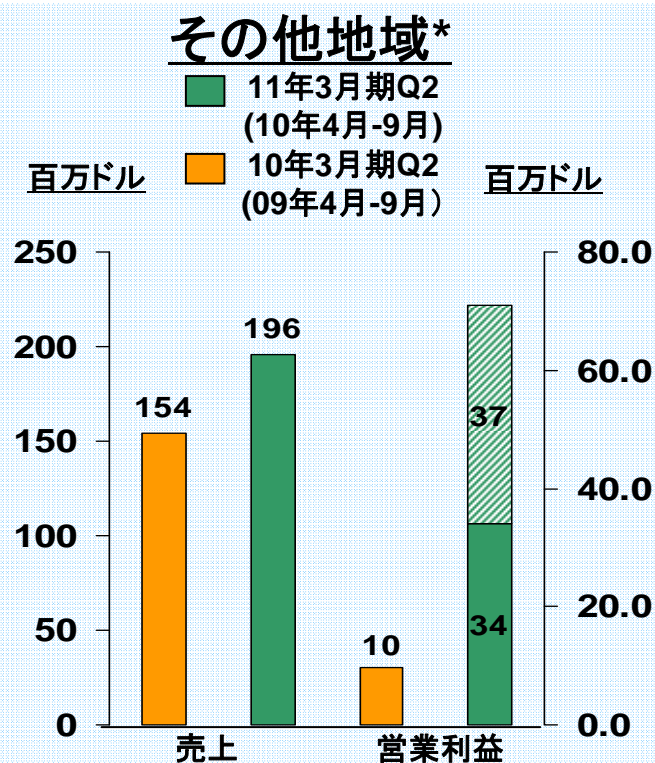


- 販売数量増が販売価格低下を相殺し売上増
- 販売数量増とコスト削減により営業利益改善

建築用ガラス事業 (10年3月期第2四半期との比較)



- 販売数量増により売上増
- 数量増とコスト削減により営業利益改善

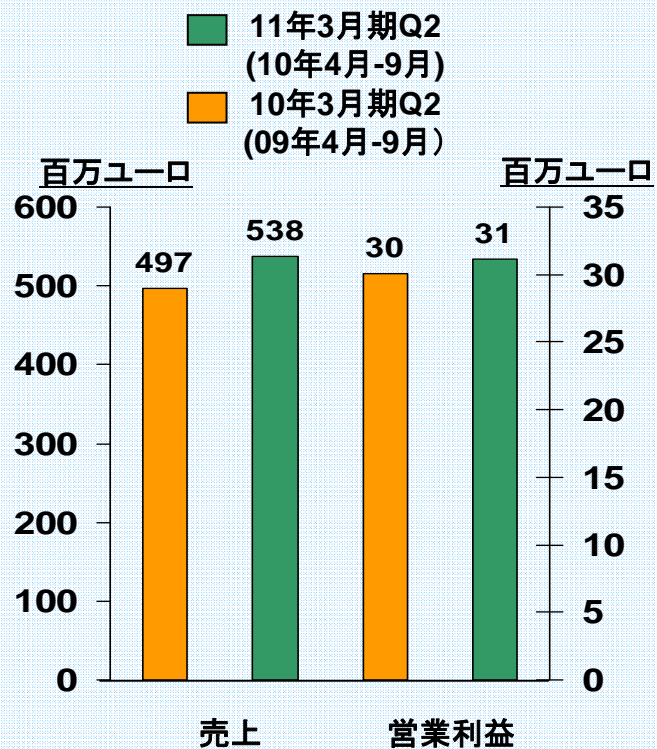


- 販売価格上昇および販売数量増と中国のソーラー向け型板事業(PST)の連結により売上増
- 販売価格および販売数量の増とチリの保険金収益(37百万ドル)により営業利益増

*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

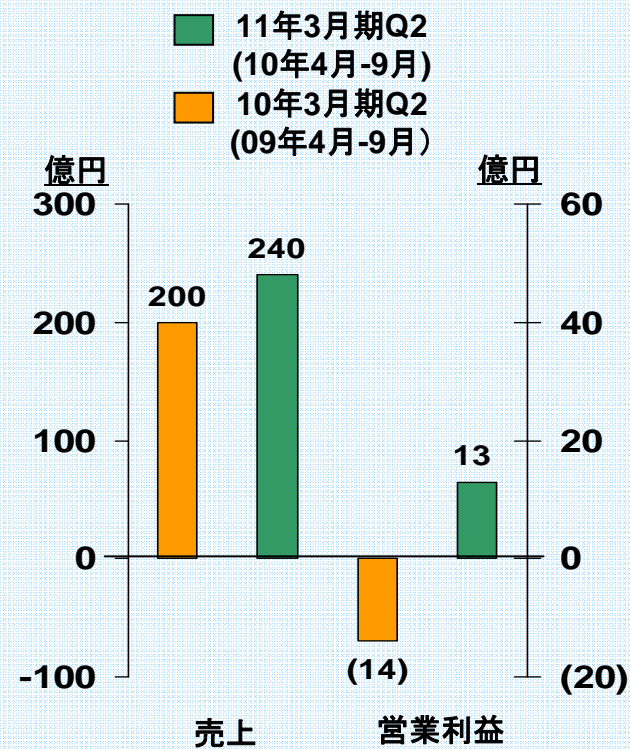
自動車用ガラス事業 (10年3月期第2四半期との比較)

欧州



- 完成車輸出の好調により売上回復
- 価格圧力が継続
- コスト上昇、特に燃料価格

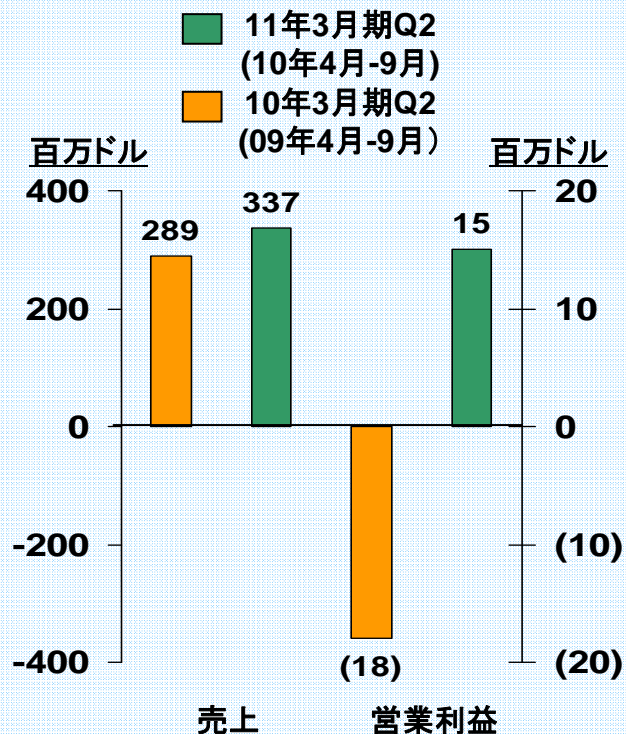
日本



- 買換え支援措置により市場成長
- 数量増と操業改善により営業利益増
- 補修用ガラス市場が改善

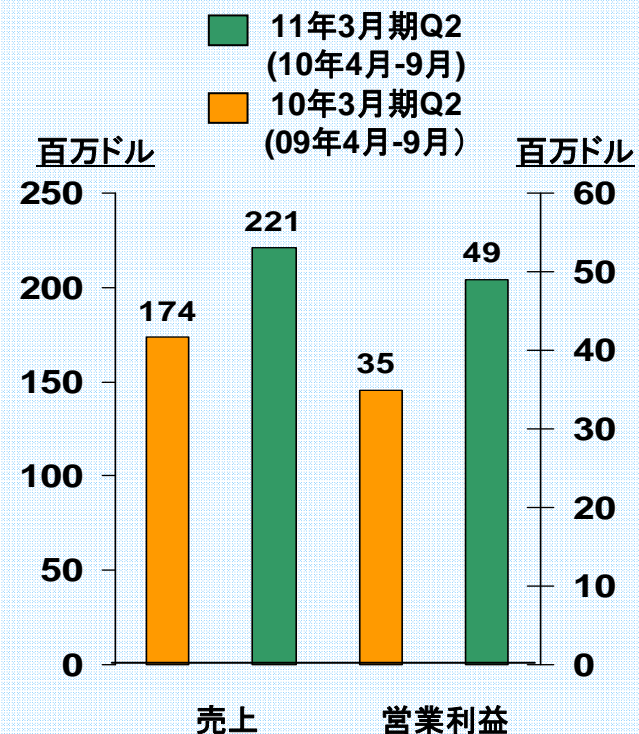
自動車用ガラス事業 (10年3月期第2四半期との比較)

北米



- 売上高は低調な前年水準から回復
- 数量増とコスト管理により営業利益増
- 補修用ガラス市場は安定的で、利益率改善

その他地域*

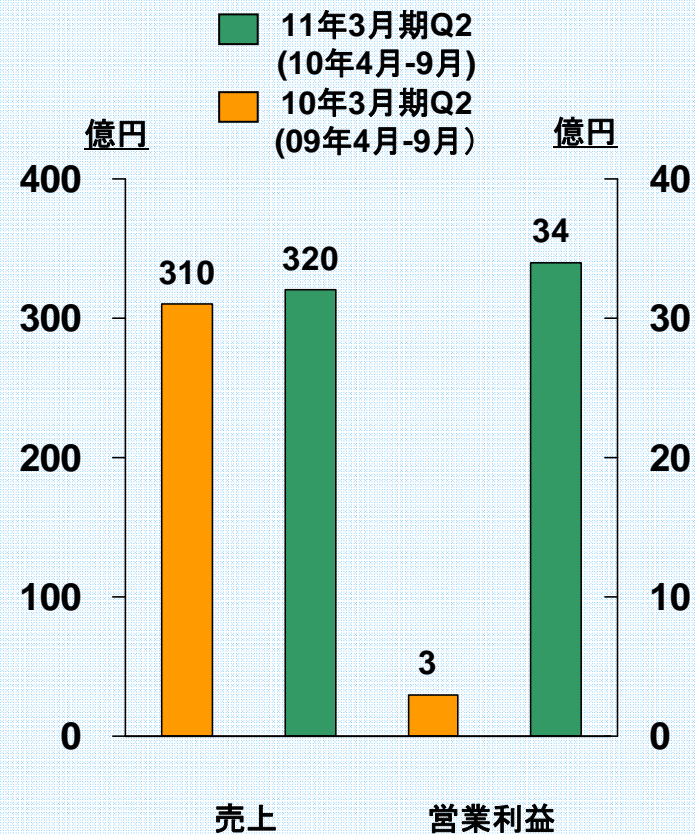


- 市場の拡大継続
- 新車向け、補修用ともに数量増が営業利益を牽引

*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

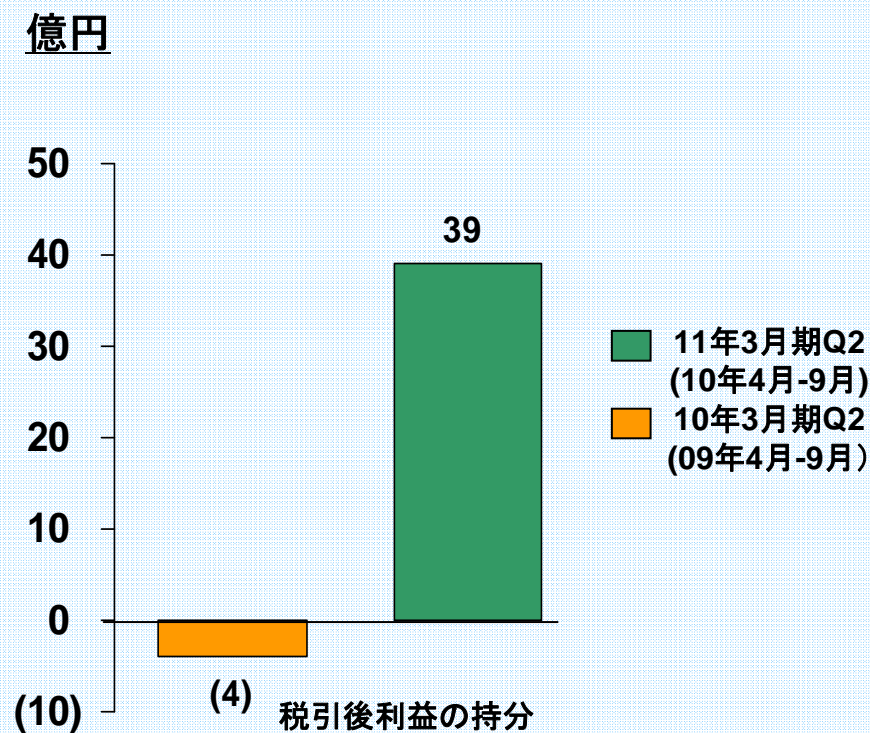
機能性ガラス事業 (10年3月期第2四半期との比較)

- モバイル機器用ディスプレイ(タッチパネル含む)が、市場トレンドと新興市場の需要により牽引
- タイミングベルト用ゴムコードは需要好調(特に欧州)
- プリンター/スキャナー市場は好調だが、円高による相殺あり
- 日本でエコカー補助金終了したが、バッテリーセパレータ売上は堅調
- 構造改革施策効果の発現により利益増



持分法適用会社(10年3月期第2四半期との比較)

- セブラセの業績は南米市場の堅調さを反映
- 中国での建築用ガラスの合弁会社の業績が改善



持分法適用会社の業績が改善

NSGグループ:第2四半期決算

(2010年4月-2010年9月)

アジェンダ

- ・ 決算概要
- ・ 需要および事業状況
- ・ まとめ

まとめ

- 前年の低水準からの市況の回復を反映した上期業績
- 持分法適用会社の業績は改善が続いており、重要性は増している
- 第2四半期に新株を成功裏に発行
- 通期業績見通しは変更なし

ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2011年3月期 4-9月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	396	544	118	174	1,232
自動車用ガラス	241	611	299	196	1,347
機能性ガラス	164	33	5	118	320
その他	36	2	0	0	38
合計	837	1,190	422	488	2,937

暖簾等償却前 営業利益 (2011年3月期 4-9月期)

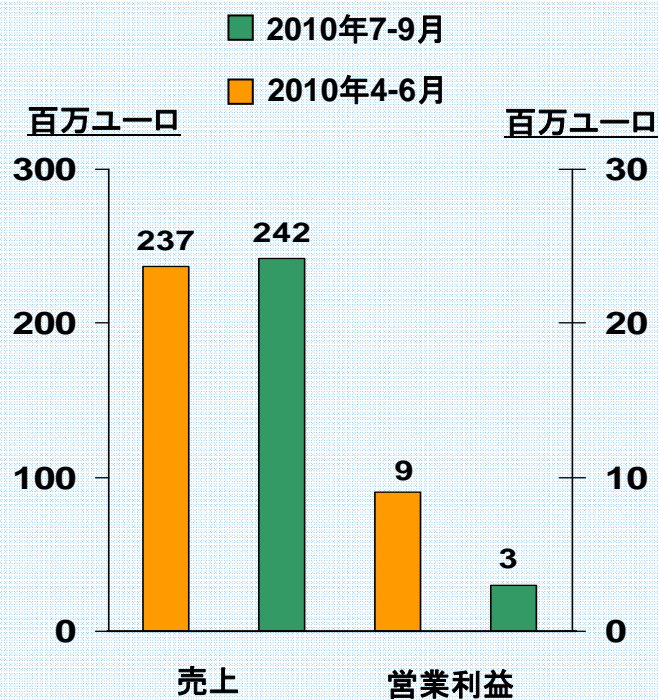
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	10	13	17	63	103	8%
自動車用ガラス	13	36	13	43	105	8%
機能性ガラス	32	2	0	0	34	11%
その他	(16)	(36)	(6)	1	(57)	
合計	39	15	24	107	185	6%
営業利益率	5%	1%	6%	22%	6%	

暖簾等償却後 営業利益 (2011年3月期 4-9月期)

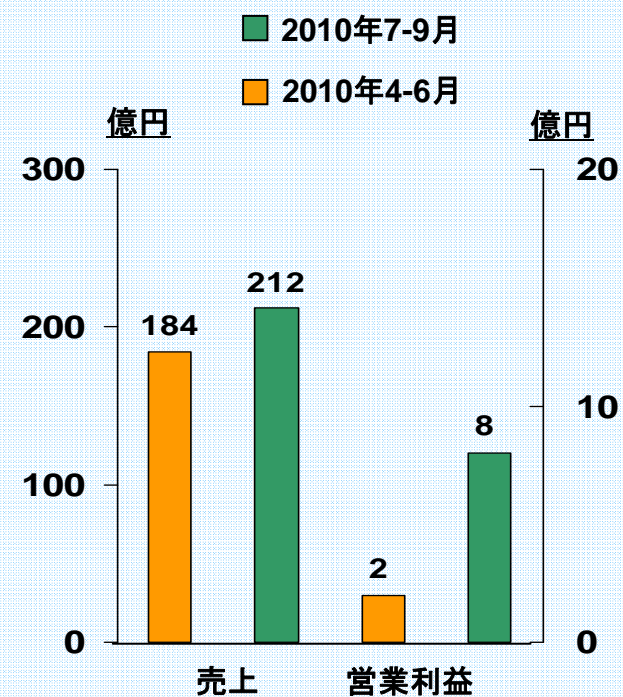
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	10	13	17	63	103	8%
自動車用ガラス	13	36	13	43	105	8%
機能性ガラス	32	2	0	0	34	11%
その他	(16)	(88)	(21)	(12)	(137)	
合計	39	(37)	9	94	105	4%
営業利益率	5%	-3%	2%	19%	4%	

建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年4-6月と2010年7-9月)

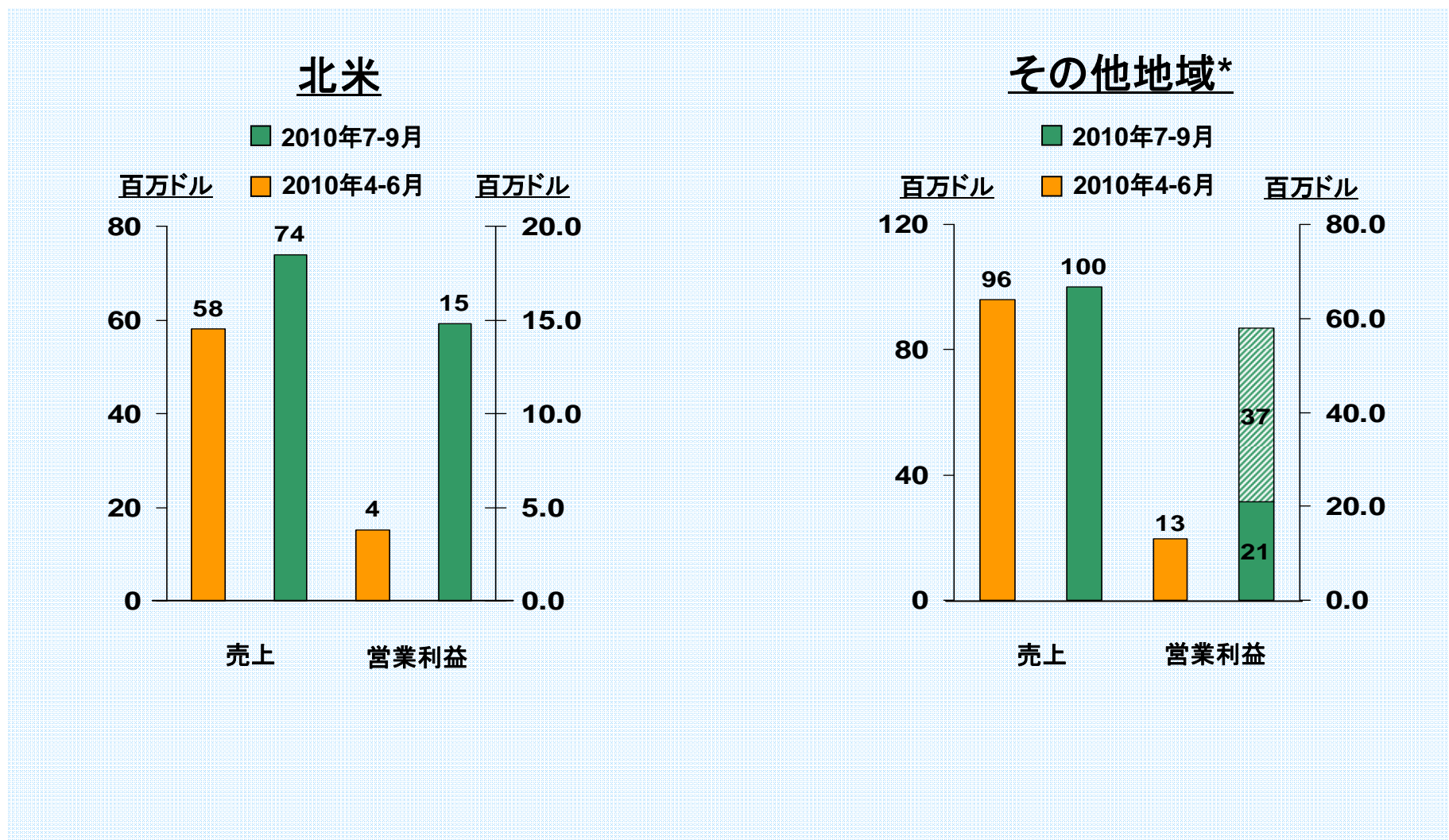
欧州



日本



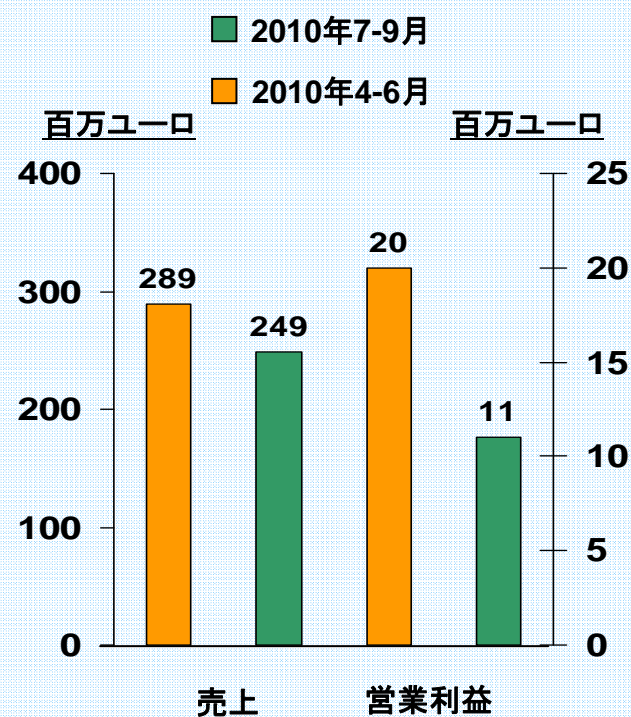
建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年4-6月と2010年7-9月)



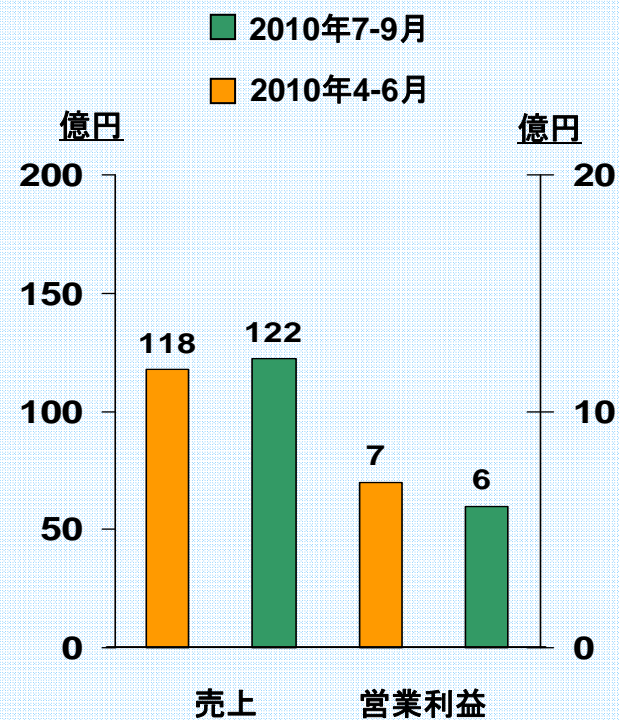
*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

自動車用ガラス事業 (四半期比較: 2010年4-6月と2010年7-9月)

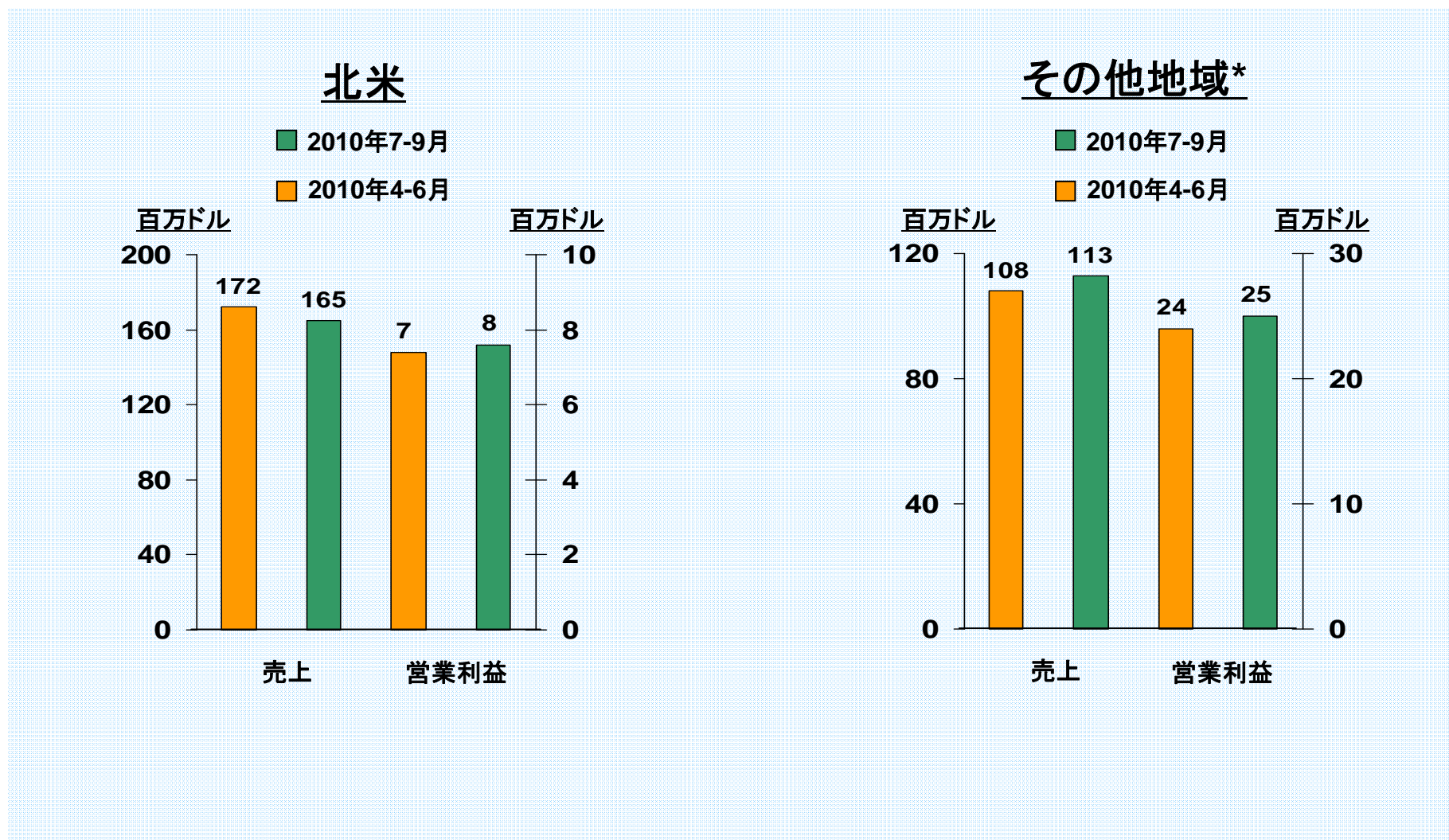
欧州



日本

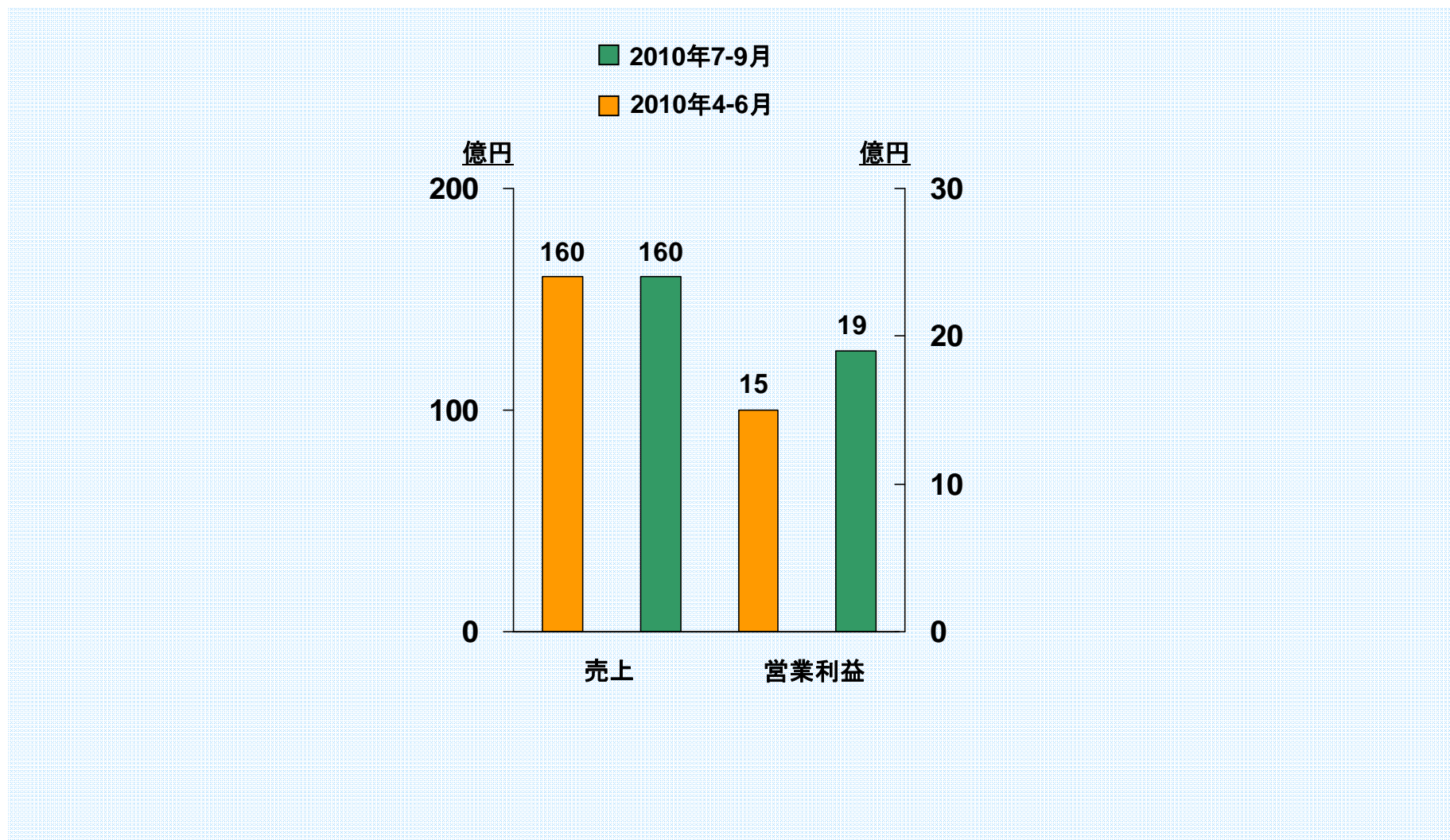


自動車用ガラス事業 (四半期比較: 2010年4-6月と2010年7-9月)



*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

機能性ガラス事業 (四半期比較: 2010年4-6月と2010年7-9月)



前提為替レート

	11年3月期 4月-9月期	10年3月期 4月-9月期
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	135	152
円/ユーロ	113	133
円/米ドル	89	96
期末為替レート:		
円/英ポンド	132	144
円/ユーロ	114	131
円/米ドル	84	89

NSG
GROUP